



病 診

連 携
NEWS

2026.

4.
April



地域医療
支援センター
新センター長
大橋 暁 先生

新センター長ご挨拶

2026年4月より、島浩一郎前センター長の後任として地域医療支援センター長を務めます、大橋暁と申します。私は2006年4月に名古屋掖済会病院に着任いたしました。以後20年余り消化器内科医として勤務してまいりましたが、地域医療機関の皆様から多くの大切な患者様をご紹介いただき、また当方からは患者様の療養や通院加療をお願いするなど、皆様方のご協力でこれまで無事診療を行うことができたこと、心より感謝しております。今後は地域医療支援センター長としてこれまでのご恩にむくいるとともに、より信頼いただける病院として緊密な医療連携の構築に努めていきたいと考えております。地域医療支援センターは「地域連携部門」「患者相談部門」「入退院支援部門」および「連携システム推進室」より構成され、「地域連携部門」内には連携機関の訪問や医師会との勉強会等を通じて地域との関係強化を目指す「渉外室」を設置しています。地域医療支援センターの役割は、地域医療機関からの患者様をスムーズに受け入れ、すみやかに専門的治療につなげることで、

および入院・治療を終えた患者様がスムーズに退院・転院・在宅療養に移行できるよう支援することです。「地域連携部門」は患者様の紹介窓口として、「入退院支援部門」は退院後の療養環境の調整を、治療や療養の心配や相談は「患者相談部門」が対応し、地域医療機関と当院とのシームレスな連携を行い、大切な患者様に安心して医療を受けていただけるようサポートしてまいります。「連携システム推進室」は『エキサイネット』を運用しており地域医療機関の皆様が患者様のカルテ、画像、検査結果などにリアルタイムにアクセスすることができます。インターネット予約システム『C@RNA connect®』では、CT・MRI・上部消化管内視鏡の予約や診療予約を行うことが可能です。地域の先生方との連携は、地域医療を支える重要な基盤であると考えております。今後も登録医の先生方との信頼関係を大切に、より良い医療連携の構築に努めてまいります。引き続き名古屋掖済会病院をよろしくお願い申し上げます。



公益社団法人 日本海員掖済会
名古屋掖済会病院

地域医療
支援センター

052-652-7954